

死亡乗客の席 運転手後方

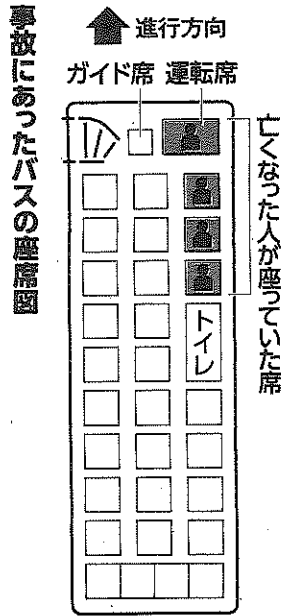
北海道のバス事故 前後並んだ3列

北海道八雲町の国道5号で18日正午ごろ、乗客15人が乗った都市間高速バスとトラックが衝突し、双方の運転手2人とバスの乗客3人が死亡した事故で、トラックが対向車線にはみ出しバス右前部に衝突したことが道警の調べでわかった。亡くなった乗客3人はいずれも運転手の後ろ3席に座っていたとみられる。道警は自動車運転死傷処

罰法違反(過失運転致死傷)容疑で調べている。道警は19日未明、亡くなった5人はバス運転手の興膳孝幸さん(64)札幌市、トラック運転手の梶谷誠さん(65)北海道道森町、バス乗客の若崎友哉さん(33)北海道函館市、高清水忍さん(57)北海道鹿部町、高橋裕美さん(55)札幌市と発表した。トラックはバスの右前

部に突っ込み、バスは右側面がめくれるように大破した。道警は、別の車のドライブレコーダーや、トラックとバスの破損状況などから、トラックが中央線を越えてバスの右前方にぶつかったとみている。

バスを運行する北都交通(本社・札幌市)によると、亡くなった乗客3人は、運転席の後ろ3列に座っていたという。トラックを所有する日本クリーンファーム(本社・青森県おいらせ町)道南事業所の笹谷諭貴規所長は19日朝、報道各社の取材に応じ、「弊社の集荷トラックがバスに衝突し、大変申し訳ない。亡くなられた方へ誠心誠意、対応している」と謝罪した。(上保寛平、新早布美、松本英仁)



事故にあったバスの座席図



衝突事故を起こしたトラックと都市間高速バス。18日午後4時16分、北海道八雲町、本社機から、岩下毅撮影

死亡乗客の席、運転手後方

北海道のバス事故 トラック過失か

北海道八雲町の国道5号でトラックが都市間高速バスに衝突し、5人が死亡した事故で、死亡した乗客の男女3人は、運転席の後ろ3列の座席を予約していたことが19日、捜査関係者への取材



事故で大破したトラックとバス(18日、北海道八雲町)

で分かった。北海道警は、3人が大破した車体右前方に集中していたとみて詳しく状況を確認するとともに、乗客が「バスの運転に不審な点はなかった」と話していることから、トラック側の運転に過失があった可能性があるとみて自動車運転処罰法違反(過失致死傷)容疑を視野に調べている。

トラックが反対車線にはみ出し、バスにぶつかった瞬間が、周囲を走行していた車のドライブレコーダーに映っていたことも判明。またトラックを所有する養豚会社「日本クリーンファーム」(青森県おいらせ町)は、トラックのレコーダーを道警に提出。道警は映像を解析する。バスのレコーダーは大破していた。

道警は19日未明、死亡した5人の身元を発表。乗客は札幌市清田区の高橋裕美さん(55)、函館市の地方公務員、若崎友哉さん(33)、鹿部町のパート従業員、高清水忍さん(57)の計3人。バス運転手は札幌市清田区

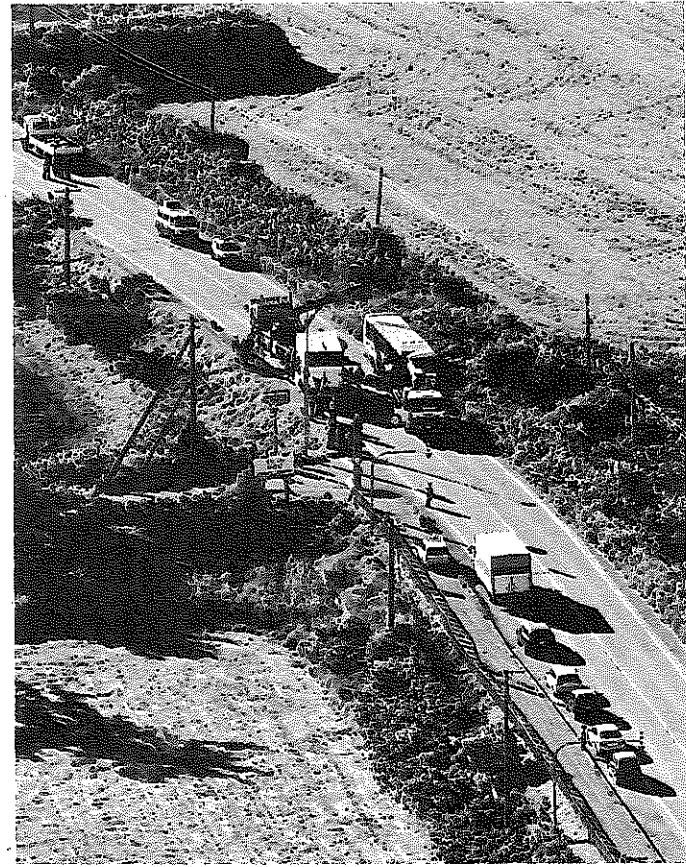
の興膳孝幸さん(64)、トラック運転手は森町の梶谷誠さん(65)。
このほか、バスに乗っていた20〜40代の男性3人と30〜80代の女性9人が病院に搬送された。80代の女性が重傷とみられ、残る11人は軽傷。
日本クリーンファームの笹谷諭貴規・道南事業所長は19日、八雲町内で報道陣の取材に応じ、「迷惑をかけ、大変申し訳ない。誠心誠意対応する」と謝罪した。同日午前には、十和田労働基準監督署(青森県十和田市)の職員2人が日本クリーンファームの本社に立ち入り、事故についての説明を受けた。
事故は18日午前11時55分ごろ発生。函館付近から八雲町にある食肉処理場に豚を運んでいたトラックが、札幌市から函館市に向かっていた都市間高速バス「高速はこだて号」と衝突した。
運行していた北都交通(札幌市)によるとバスは18日午前7時50分ごろにJ.R.札幌駅を出発。現場近くで高速道路を降り、国道を走っていた。日本クリーンファームは日本ハムの子会社。日本ハムの広報担当者は「警察の捜査には全面的に協力していく」と話している。

運転手は札幌市清田区
の興膳孝幸さん(64)、
トラック運転手は森町の
梶谷誠さん(65)。
このほか、バスに乗っ
ていた20〜40代の男性3
人と30〜80代の女性9人
が病院に搬送された。80
代の女性が重傷とみら
れ、残る11人は軽傷。
日本クリーンファーム
の笹谷諭貴規・道南事業
所長は19日、八雲町内で
報道陣の取材に応じ、「こ

迷惑をかけ、大変申し訳
ない。誠心誠意対応する」
と謝罪した。同日午前
には、十和田労働基準監督
署(青森県十和田市)の
職員2人が日本クリーン
ファームの本社に立ち入
り、事故についての説明
を受けた。
事故は18日午前11時55
分ごろ発生。函館付近か
ら八雲町にある食肉処理
場に豚を運んでいたトラ
ックが、札幌市から函館

市に向かっていた都市間
高速バス「高速はこだて
号」と衝突した。
運行していた北都交通
(札幌市)によるとバスは
18日午前7時50分ごろに
J.R.札幌駅を出発。現場
近くで高速道路を降り、
国道を走っていた。日本
クリーンファームは日本
ハムの子会社。日本ハム
の広報担当者は「警察の
捜査には全面的に協力し
ていく」と話している。

市に向かっていた都市間
高速バス「高速はこだて
号」と衝突した。
運行していた北都交通
(札幌市)によるとバスは
18日午前7時50分ごろに
J.R.札幌駅を出発。現場
近くで高速道路を降り、
国道を走っていた。日本
クリーンファームは日本
ハムの子会社。日本ハム
の広報担当者は「警察の
捜査には全面的に協力し
ていく」と話している。



片側1車線の国道がなだらかな弧を描く、長距離バス(中央右)とトラック(同左)が正面衝突した現場(18日、北海道八雲町で、本社機から)＝清水敏明撮影

トラックがはみ出し 北海道5人死亡ドラレコに記録

きた。〈関連記事9面〉

北海道八雲町の国道で札幌発函館行きの長距離バス「高速はこだて号」とトラックが衝突し5人が死亡、12人が負傷した事故で、付近を走行していた車のドラレコ映像に、トラックが対向車線にはみ出し、バスと衝突する様子が映っていたことが道警への取材でわかった。

トラックは養豚会社「日本クリーンファーム」(青森県おいらせ町)の道南事業所(八雲町)の所属で、函館方面から八雲町に豚を運搬していた。現場は見通しの良い片側1車線の緩やかなカーブで、道警は映像を解析するなどし、自動車運転死傷行為処罰法違反(過失運転致死傷)の疑いで調べている。

亡くなったのはバスを運転していた札幌市清田区、興膳孝幸さん(64)、トラック運転手の北海道森町港町、梶谷誠さん(65)、乗客の函館市旭町、同市職員若崎友哉さん(33)、鹿部町本別、パート従業員高清水忍さん(57)、札幌市清田区、高橋裕美さん(55)。けがをした20〜80歳の男女12人のうち、11人は軽傷で、1人は首を強く打って重傷とみられる。事故は18日正午頃、八雲町の国道5号で起

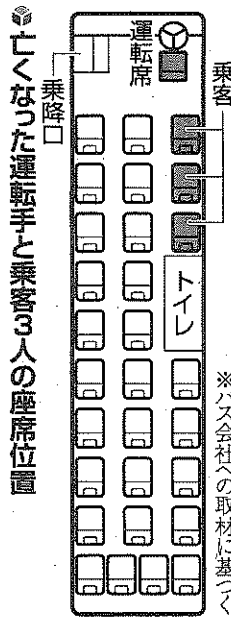
北海道事故

死亡乗客 右前方に集中

バス運転手は「優しい人」

北海道八雲町で長距離バスとトラックが正面衝突して双方の運転手と乗客の計5人が死亡した事故。犠牲になった乗客3人は、いずれもバスの右側前方に座っていたことが、捜査関係者への取材でわかった。

※バス会社への取材に基づく



現場はトラック側から見て緩い左カーブ。トラックとバスは大破し、バスは右側面が大きくえぐられていた。バスを運行していた北都交通(札幌市)によると、バスは運転席を含めて30席あり、死亡した乗客の男女

3人は運転席のすぐ後ろの右側の3列に座っていた。トラックは函館方面から八雲町のと畜場へ豚30頭を運ぶ途中だった。

死亡したバス運転手の興膳幸さん(64)(札幌市清田区)は、乗務歴15年のベテラン。少なくとも3年以上無事故で、社内の表彰を受けていた。北都交通によると、興膳さんは後輩の面倒見が良く、最近、孫ができたという。興膳さんの近所の80歳代女性は「家族ぐるみで雪かきを手伝ってくれたりして、とても優しい人だった。生まれたばかり

の孫のことをうれしそうに話していたのに」と信じられない様子だった。

亡くなった乗客の若崎友哉さん(33)は函館市の市職員。2012年に入庁し、20年から人事課に勤務していた。同課の葛西巨課長(47)は若崎さんについて、「成績優秀で協調性があり、職場の中心となるような人だった。事故を報道で知り、職員に関係がなければと思ったが、巻き込まれるとは」とうなだれた。